

令和8年度全国理科教育大会 新潟大会

担当都道府県枠(黄色が全国依頼枠)

【研究協議（コーディネーター・意見提示者）】

分科会		コーディネーター(総数14)	意見提示者(総数14)
第1分科会	物理①「個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む物理教育実現のための授業づくり」	新潟	福井
		1(1名)	8(1名)
第2分科会	物理②「探究心を育む物理教育実現のための観察・実験の工夫」	富山	新潟
		2(1名)	9(1名)
第3分科会	化学①「個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む化学教育実現のための授業づくり」	福井	長野
		3(1名)	10(1名)
第4分科会	化学②「探究心を育む化学教育実現のための観察・実験の工夫」	新潟	石川
		4(1名)	11(1名)
第5分科会	生物「探究心を育む生物教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫」	長野	新潟
		5(1名)	12(1名)
第6分科会	地学「探究心を育む地学教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫」	石川	富山
		6(1名)	13(1名)
第7分科会	「地域産業との連携で探る、新たな価値の創造のための理科教育」	新潟	新潟
		7(1名)	14(1名)

【研究発表（座長）】 研究発表の論文数次第では、開設しない会場があります。

会場		座長(総数20)	
第1会場	物理分野①	新潟	全国から 15枠に3名
		15	
第2会場	物理分野②	福井	
		15	
第3会場	物理分野③	長野	全国から 16枠に5名
		15	
第4会場	化学分野①	新潟	
		16	
第5会場	化学分野②	富山	
		16	
第6会場	化学分野③	石川	
		16	
第7会場	化学分野④	新潟	
		16	
第8会場	化学分野⑤	石川	
		16	
第9会場	生物分野	新潟	
		17(1名)	
第10会場	地学分野	新潟	
		18(1名)	

※各科目の会場数については、現時点、岩手大会の会場数を参考にしています。